

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
基礎柔道整復学5						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	後期	住吉 泰之	○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	基礎柔道整復学			座学	2	21
科目概要						
柔道整復の基礎知識を身に付ける。 「外傷予防」等の観点から、運動器の損傷を学習し、理解することができる。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として外傷予防につなげるために、 骨折・脱臼・軟部組織損傷の発生機序を学び、 損傷に関わる骨格筋の関係を解剖学・運動学と連結した知識を習得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、定量的な指標(合格基準)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨の損傷と関節の損傷を理解して、選択肢から把握できる。 2. 鎖骨部の外傷を理解して、骨折と脱臼を鑑別して選択肢から把握できる。 3. 肩関節部の外傷を理解して、骨折と脱臼を鑑別して選択肢から把握できる。 4. 肩関節の回旋筋腱板損傷と長頭腱損傷の検査を理解して、選択肢から把握できる。 5. 上腕骨骨幹部骨折の発生と部位による転位を理解して、選択肢から把握できる。 6. 肘関節の顆上骨折と肘関節脱臼の鑑別を理解して、選択肢から把握できる。 7. 外顆骨折の発生と合併症、肘内障の発生と予防を理解して、選択肢から把握できる。 8. 野球肘の3つの分類とテニス肘の3つの検査法を理解して、選択肢から把握できる。 9. 前腕骨骨幹部骨折と脱臼骨折の特徴を理解して、選択肢から把握できる。 10. 正中神経、橈骨神経、尺骨神経の傷害と鑑別点を理解して、選択肢から把握できる。 					
履修に必要な予備知識や技能						
特に文字の読解力と文章の把握能力。 「柔道整復学1」「柔道整復学2」の学習内容。 「解剖学」「運動学」の学習内容。						
教科書・参考書						
教科書:『柔道整復学・理論編』改訂第3版(南江堂)※発売前のため第6版のページを記載 参考書:『解剖学』第2版、『運動学』改訂第3版(医歯薬出版株式会社)						
受講上の注意						
読めない字や、わからない単語は出来るだけ早めに尋ねて、確認して攻略していきましょう。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験 (小テスト (チャレンジテスト))	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	運動器:骨の外傷【骨折の分類の確認】			24-34 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第2回	運動器:関節の外傷【脱臼の分類の確認】 第1・2回 確認小テスト			59-66 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第3回	運動器:鎖骨部の外傷【鎖骨の骨折、脱臼の鑑別】			221-228 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第4回	運動器:鎖骨部の外傷【胸鎖乳突筋と合併損傷】 第3・4回 確認小テスト			221-228 ※第6版時点	教科書・参考書 筆記用具	
第5回	運動器:肩関節部の外傷【上腕骨骨折、肩関節脱臼の鑑別】			228-245 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第6回	運動器:肩関節部の外傷【肩甲骨骨折と作用筋】 第5・6回 確認小テスト			228-245 ※第6版時点	教科書・参考書 筆記用具	
第7回	運動器:肩関節部の外傷【腱板断裂、長頭腱損傷の鑑別】			245-256 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第8回	運動器:肩関節部の外傷【神経損傷と骨格筋の確認】 第7・8回 確認小テスト			245-256 ※第6版時点	教科書・参考書 筆記用具	
第9回	運動器:上腕部の損傷【上腕骨骨幹部骨折の理解】			256-262 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第10回	運動器:上腕部の損傷【上腕骨骨幹部骨折の理解】 第9・10回 確認小テスト			256-262 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第11回	運動器:肘関節部の外傷【顆上骨折、肘関節脱臼の鑑別】			263-282 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第12回	運動器:肘関節部の外傷【顆上骨折、肘関節脱臼の鑑別】 第11・12回 確認小テスト			263-282 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第13回	運動器:肘関節部の外傷【外顆骨折、肘内障の理解】			263-282 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第14回	運動器:肘関節部の外傷【外顆骨折、肘内障の理解】 第13・14回 確認小テスト			263-282 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第15回	運動器:肘関節部の外傷【野球肘の3つの分類】			283-287 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第16回	運動器:肘関節部の外傷【テニス肘の3つの検査法】 第15・16回 確認小テスト			283-287 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第17回	運動器:前腕部の外傷【前腕骨骨幹部骨折の理解】			288-299 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第18回	運動器:前腕部の外傷【脱臼骨折の理解】 第17・18回 確認小テスト			288-299 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第19回	運動器:前腕部の外傷【末梢神経障害】			299-304 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第20回	運動器:前腕部の外傷【末梢神経障害】 第19・20回 確認小テスト			299-304 ※第6版時点	教科書 筆記用具	
第21回	総括				教科書 筆記用具	
実務経験と本講義との関連について						
本校卒業した柔道整復師・接骨院勤務歴2年。 柔道整復師として施術現場とかかわる柔道整復理論を講義します。 また、本校のOBとして、特に重視するべき点をお伝えいたします。						
メールアドレス						
sumiyoshi@nihonisen.ac.jp						